

第6回 千葉県ベンチャー企業経営者表彰

受賞企業にみる起業家精神

3

ナノテック



中森 社長

ける研究開発型ベンチャーで、この分野ではトップレベル。

「この技術は、将来必ずわが国の産業界に必要不可

に力を入れている。このほか、自社装置を使った受託加工、海外からコーティングの状態で評価する装置を輸入販売するなど事業を拡大している。

（中森社長）と果敢に新技術を追いかける。同じく東葛テクノアプラザに技術開発センターを構えているのがニッサンキ（千葉県柏市高田1-11-6の50、中山明典社長）。成熟した感のあるショットプラ

発スタイルで、これまでのイメージを一変するショットプラスチックを次々と開発している。独自開発に加えて産学官連携による共同研究・開発にも力を入れている。水と樹脂製のメディア（粒子）を投射して粉塵を発生させることなく表面処理と同時に洗浄する装置などを開発。プラスチックにどうま

果敢に独自技術を追求

自由な発想と感性重視

ナノテック（埼玉県南埼玉郡白岡町西8の19の8、中森秀樹社長）は「タイヤモンド・ライク・カーボン（DLC）」を使ったコーティングの技術開発を手が

た中森社長が、1989

年に仲間4人と設立。99年には県の中小企業総合支援施設である東葛テクノプラザ（柏市）にテクニカルセンターを設置して研究開発

院生として産学協同研究にも取り組んでいる。「本来、日本は欧米が見

スト業界で、常に技術革新を導いているベンチャーだ。文系出身の中山社長は、この世界に入ってから独学で技術を学んだ。以来、梓「湧（わ）き出てくるアイデア」（中山社長）によって次々に生み出され、新たな需要を喚起している。



中山 社長

ニッサンキ

「これら独自の装置は湧（わ）き出てくるアイデア」（中山社長）によって次々に生み出され、新たな需要を喚起している。

「これら独自の装置は湧（わ）き出てくるアイデア」（中山社長）によって次々に生み出され、新たな需要を喚起している。

「これら独自の装置は湧（わ）き出てくるアイデア」（中山社長）によって次々に生み出され、新たな需要を喚起している。